

令和5年度関東農政局みどりの食料システム戦略勉強会（第1回）

## 実践報告

# JA佐久浅間における地域資源の 肥料利用の取組について



佐久浅間農業協同組合

# J A 佐久浅間概要

JA佐久浅間の行政区域は、小諸市・佐久市・佐久穂町・軽井沢町・御代田町・立科町・東御市（旧北御牧村地区）の3市4町にまたがり、本州のほぼ中央、長野県における東の玄関口に位置しています。当地区では、恵まれた自然環境・気候・立地条件を生かし、野菜を中心として米穀・果樹・花き・きのこ・畜産などの生鮮農畜産物の総合供給産地として、全国市場からも注目を集めています。



# 組合の運営組織の状況に関する事項

## 組合員の状況

(単位：人、戸)

		令和4年度末	令和3年度末	増減
正組合員数		17,217	17,699	△482
	個人	17,161	17,645	△484
	法人	56	54	2
准組合員数		12,487	12,247	361
	個人	12,124	12,124	363
	法人・団体	123	123	△2
合計		29,825	29,946	△121

## 職員の状況

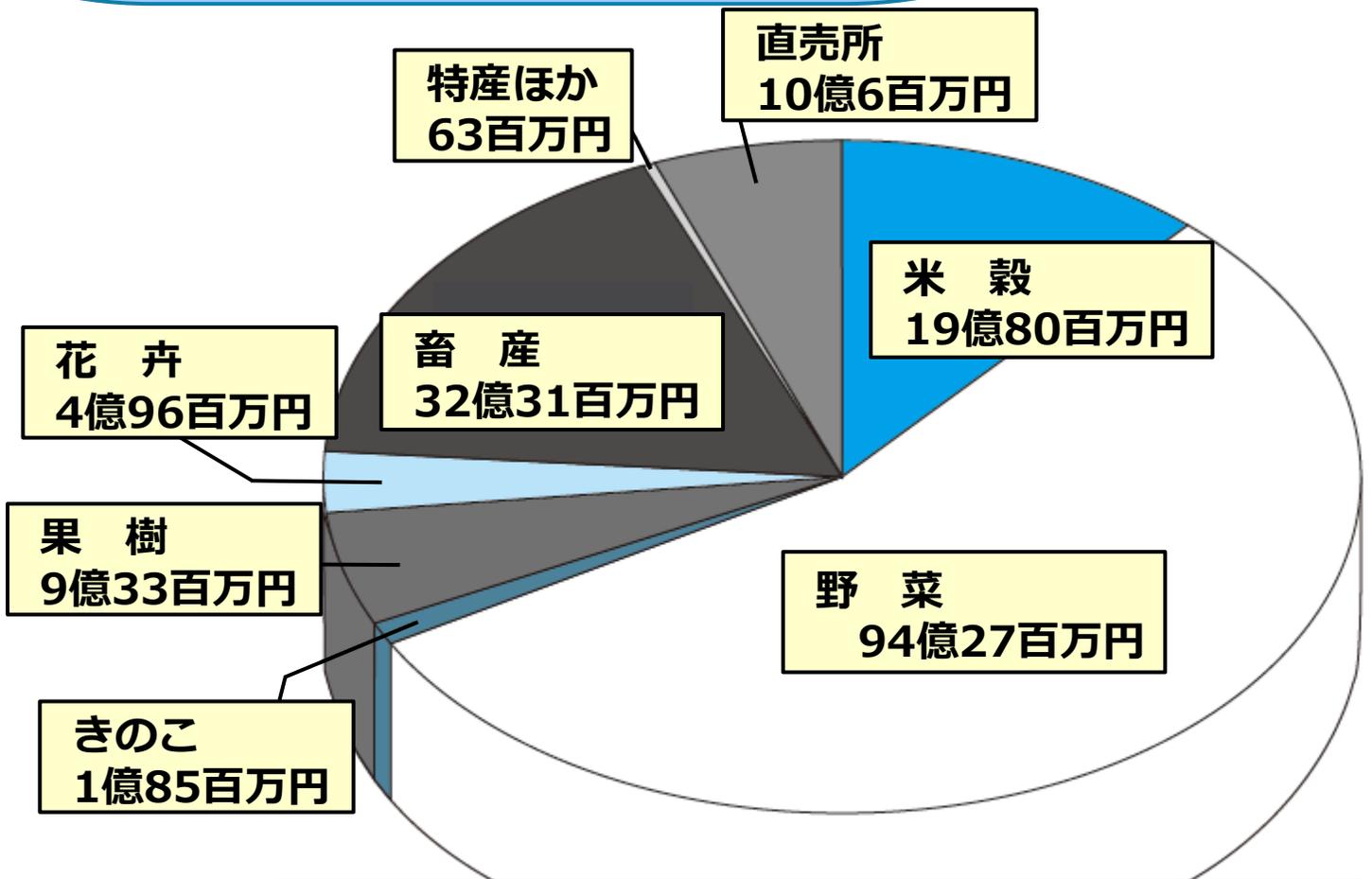
(単位：人)

区分		令和4年度			令和3年度		
		男	女	計	男	女	計
正職員		284	142	426	306	144	450
	営農技術員	52	-	52	49	1	50
	生活指導員	-	5	5	-	7	7
	計	355	152	507	355	152	507
臨時・パート職員		64	135	199	65	148	213
合計		400	282	682	420	300	720

# 営農活動

## 令和4年度 販売品取扱高

<b>営農技術員</b>	
<b>52人</b>	
企画	4人
稲作	9人
野菜	18人
花き	10人
果樹	9人
畜産	2人



**販売品取扱高総額 171億9,622万円**  
前年対比：102.26% 計画対比：92.50%

第23回通常総代会 第3号議案

# JA佐久浅間長期ビジョン 第二次3カ年プラス2カ年計画

(2022年～2024年プラス2025年～2026年)

食と農で笑顔を育み、  
次世代へつなぐ地域をつくります

～農業・地域の未来を拓く～

佐久浅間農業協同組合

(総代各位はこの資料を総代会当日ご持参ください。)

## JA佐久浅間長期ビジョン 第二次3カ年プラス2カ年 計画

# J A 佐久浅間長期ビジョン・ 第二次3カ年プラス2カ年計画 (2022年~2026年)

## 食と農で笑顔を育み、 次世代へつなぐ地域をつくります

### サブテーマ ～農業・地域の未来を拓く～

#### **基本方針 1** **【新たな挑戦】持続可能な地域農業の実現**

- 基本目標 1 更なる農業生産基盤の維持拡大に取り組みます
- 基本目標 2 農業所得増大につながる販売力強化とコスト削減に取り組みます

#### **基本方針 2** **地域の多様なニーズに応え農業と地域の未来を創る**

- 基本目標 1 協同組合の役割を發揮し地域社会に貢献します
- 基本目標 2 総合事業を支える J A 経営基盤を確立します

## 重点取組事項（リーディングプロジェクト）

重点的な取り組みを「リーディングプロジェクト」と位置づけ、総合的・効果的に推進します。

新しいJ Aを築くため、将来を見据えた「事業改革による既存事業の深掘り」と「未来への投資」による両利きの経営を実践するとともに、「食」と「農」を起点として『10年後のめざす姿』を描き、この「めざす姿」の実現に向けて取り組みをすすめます。

### 【10年後のめざす姿】

目まぐるしく変化を続ける経済環境の中、J A佐久浅間が協同組合の役割を発揮し、農家所得の向上をはかるとともに、「食」と「農」を起点に持続可能な「農業」と「地域社会」の実現に貢献している姿をめざす。

## リーディングプロジェクト 地域農業の振興と農業所得増大プロジェクト

- **地域農業振興ビジョンの着実な実践**
- **実需者ニーズに対応した農畜産物の生産振興をすすめ、生産販売額 240 億円、直売関連販売額 30 億円を目指し、農業生産販売額の再構築に取り組む**
- **営農指導体制の強化をはかり地域の農業振興および持続可能な農業に向けた相談機能の充実**
- **「低コスト生産資材の実現」と「主要農産物のブランド化・販路拡大」**

## 【営農経済部門リーディングプロジェクト】

- ① 中佐都りんご団地プロジェクト
- ② 花卉（トルコギキョウ）振興プロジェクト
- ③ 軽井沢馬取地区葉菜類振興事業（県営事業） 対策事務局
- ④ 浅間山麓ブロッコリー振興事業（県営事業） 対策事務局
- ⑤ 望月高原牧場畑地化プロジェクト
- ⑥ 青果物物流改革プロジェクトチーム
- ⑦ フロン使用予冷库施設集約更新対策プロジェクト
- ⑧ ぶどう栽培振興プロジェクト
- ⑨ 果菜類振興プロジェクト
- ⑩ スマート農業推進プロジェクト
- ⑪ 生産資材新商材開発プロジェクト
- ⑫ 生産資材配送合理化プロジェクト
- ⑬ 生産資材システム開発プロジェクト
- ⑭ みどりの食料システム法基盤確立事業プロジェクト
- ⑮ シナノパール研究会

# 営農経済事業

農家所得向上に向けJAの  
総力をあげて目標達成に  
取り組みます

農家所得向上



農家所得向上に  
向けたサイクル

JA経営基盤の  
確立・強化

組合員



地域農業振興ビジョン

3年プラス2年計画

- ・ 14プロジェクト + 1研究会
- ・ 営農指導体制強化（独自制度導入）
- ・ 農作業受託（農援隊開始）
- ・ 固定化未収金削減
- ・ 営農サービスDX



# 生産資材新商材開発プロジェクト

## プロジェクトの目的

・JA佐久浅間オリジナル堆肥「もちづき有機」の地産地消を図り自給生産を図る。

## 商品

1 もちづき有機入り一般園芸用元肥【商品化】

商品名「望ちゃん」

施肥設計 N-P-K 12-3.4-6.0 堆肥使用割合  
(乾物換算) 30%

微量元素 マグネシウム1.3 マンガン0.40 ホウ素0.20

もちづき有機を使用し、堆肥と化学肥料を一粒化による散布労力の軽減を図れる混合肥料又、JA佐久浅間の圃場に適したPKの低い成分バランスと肥料コスト節約も可能

2 もちづき有機ペレット堆肥 【商品化】

3 もちづき有機増量型減化学肥料 【設計中】

指定混合肥料  
JA佐久浅間専用 もちづき有機入り肥料  
のぞみ  
**望ちゃん**  
堆肥  
NPK  
化成  
微量元素  
牛ふん  
堆肥入り

成分別 (%)	チッソ	リンサン	カリ	マグネシウム	マンガン	ホウ素
	12.0	3.4	6.0	1.3	0.40	0.20

堆肥使用割合 30%  
乾物換算

●供給/JA佐久浅間 ●製造/朝日アグリ株式会社 20kg ポリ袋

土壌改良に  
**もちづき有機** ペレット  
(産産産産産)  
15kg

●特長●  
①高温で長時間発酵熟成させた堆肥です。  
②ペレット状なのでとても使いやすいです。  
③ペレットなので散布作業が楽にこなせます。  
④地方産品に由来する有機質を豊富に含有しています。  
⑤過剰な窒素・リン・カリを除去し、植物に吸収しやすい状態にしています。

●健康増進効果●  
①土壌改良効果  
②植物の生育促進効果  
③植物の病気予防効果  
④植物の収穫量向上効果  
⑤植物の収穫品質向上効果

●用法●  
①散布  
②撒き  
③堆肥

肥料の品質の確保等に関する  
法律に基づく表示  
肥料の名称 土壌改良用ペレット  
肥料の種類 たい肥  
製造者 佐久浅間農業協同組合  
販売者 佐久浅間農業協同組合  
表示の責任者 佐久浅間農業協同組合  
登録商標 佐久浅間農業協同組合  
登録商標 佐久浅間農業協同組合

佐久浅間農業協同組合  
長野県佐久市久保 6-8-2  
TEL.0267-68-1117 FAX.0267-68-1928  
佐久市望月土づくりセンター  
長野県佐久市望月 3897-339  
TEL.0267-53-7910 FAX.0267-53-7920

# みどりの食料システム法基盤確立事業プロジェクト

## プロジェクトの目的

・平成14年以降、佐久市から「土づくりセンター」（堆肥製造所）の運営を受託しており、望月地区の畜産委託農家から出る乳牛の排泄物を堆肥に加工し、販売している。そうした中、令和4年4月には当該堆肥を原料に委託製造した指定混合肥料「望ちゃん」を製品化し、JA佐久浅間管内における堆肥の活用促進を進め、化学肥料の使用量の低減を図っている。今後、JA佐久浅間管内外においても世界情勢による肥料価格高騰やみどりの食料システム戦略等を背景として有機質肥料の需要が高まることから、長野県内のJAにおける新たなペレット堆肥の製品化・販売に向け、家畜排せつ物由来のペレット堆肥の生産能力を増強することを目的とする。

⇒ 農水省からの認可

## プロジェクトメンバー（23名）

・本所（営農企画課、生産資材課）、しらかば東部営農C、土づくりC職員により構成し、行政、連合会のオブザーバーを加え構成する。

# みどりの食料システム法基盤確立事業の実施体制

【J A佐久浅間】ペレット堆肥の開発・製造、域内流通を主に担当

J A佐久浅間

営農経済部生産資材課

ペレット堆肥の販売促進・配送

仕入

営農経済部営農企画課

新たなペレット堆肥  
の開発・製造

J A全農長野県本部との調整  
佐久市との調整

連絡・調整

【J A全農長野県本部】ペレット堆肥の域外流通を主に担当

J A長野県本部

生産購買部

ペレット堆肥の販売

東信事業所

県内J Aからの相談窓口  
J A佐久浅間との調整

【佐久市】ペレット堆肥の農業者等への利用促進と、  
下水汚泥の活用に向けた排出業者とのマッチングを主に担当

佐久市

環境部

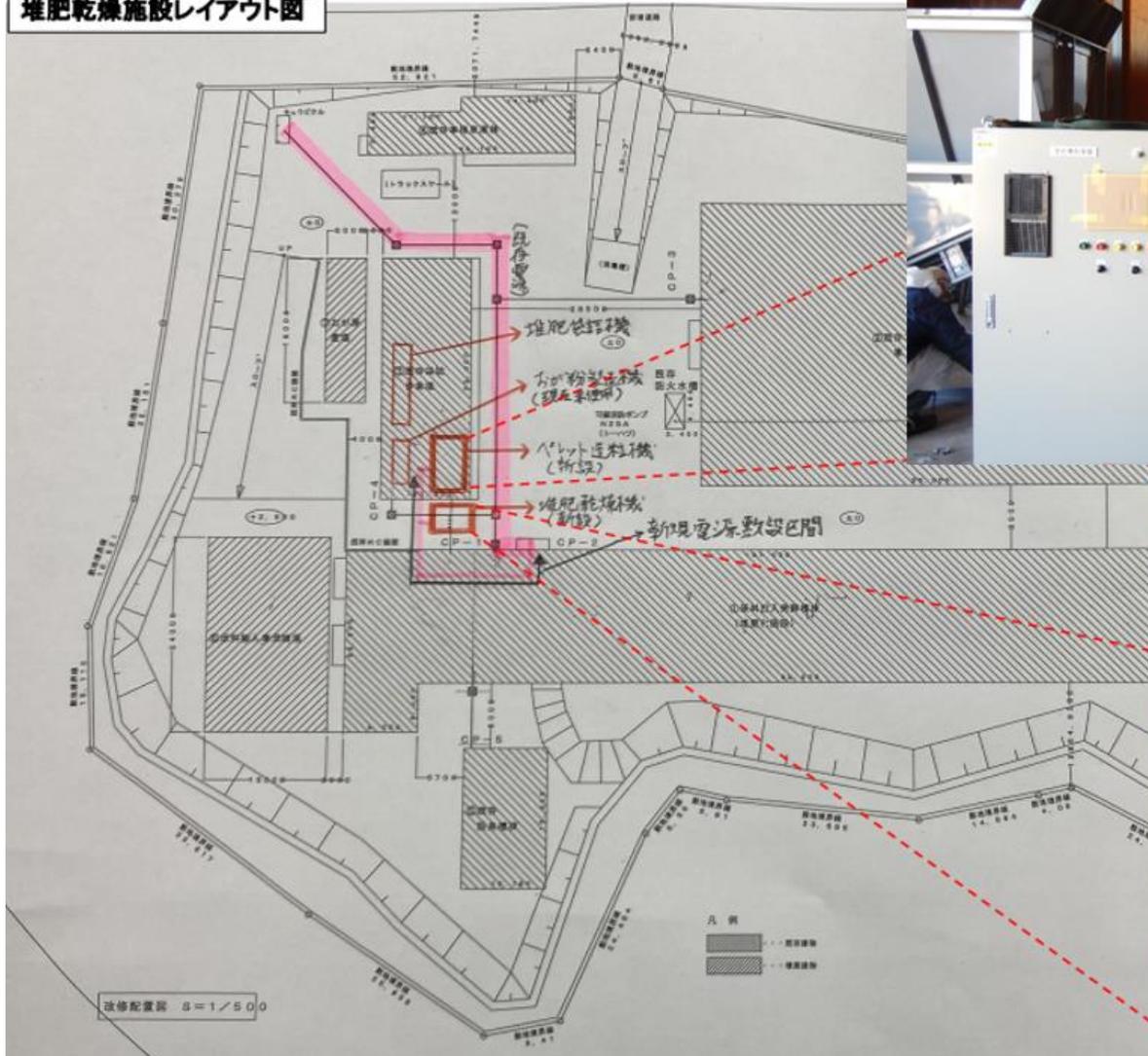
排出業者とのマッチング  
(下水汚泥の活用等)

経済部農政課

市内の農業者等への普及、利用促進  
J A佐久浅間との調整

# みどりの食料システム法基盤確立事業での機器整備

「もちづき土づくりセンター」  
堆肥乾燥施設レイアウト図



完成写真



完成写真



# みどりの食料システム法基盤確立事業プロジェクト

化学肥料・農薬・温室効果ガスの削減  
有機農業産地づくり推進

## 1.ペレット堆肥の製造

- ・堆肥乾燥施設
- ・堆肥ペレットマシン
- ・ペレット堆肥（炭入り）
- ・循環型農業

環境調和型農業  
への取組  
グリーンな栽培  
体系への転換サ  
ポート

## 4.大型総合集出荷施設 （予冷施設）

- ・化学肥料30%低減
- ・有機入肥料栽培体系
- ・ブロッコリー栽培300人300ha
- ・果菜類振興500人100ha
- ・AIによるロボット選別  
三岡・南大井統合
- ・ブロッコリー・果菜類・ネギ等の共選



## 2.指定混合肥料

- ・混合肥料製造
- ・有機30%入り混合肥料
- ・有機入り肥料「望ちゃん」

## 3.子実用トウモロコシの栽培

- ・ペレット堆肥による子実用トウモロコシ栽培
- ・畜産農家への飼料供給
- ・糞尿活用

## J A 佐久浅間の「地域資源循環型栽培体系」の考え方

三方良しプロジェクト(作る人・売る人・買う人良し)のブランド作ります。  
地域資源を肥料として再利用して生産された農畜産物のブランド化を図ります。  
多面的機能を持つ農地を維持することで環境保全につなげます。  
三方良しを目指して持続可能な農業や地域社会を実現します。

### 「地域資源循環型栽培体系」

- ◎ 三方良しブランド商品の生産販売
  - ・ 耕畜連携による農業の環境負荷の低減
  - ・ 地域資源を循環し高付加価値とする農産物の販売
  - ・ 耕畜連携からスタートし、将来的に有機農業の拡大につなげる
  - ・ 化学農薬の削減
  - ・ 化学肥料の削減
  - ・ 畜産堆肥の有効活用
  - ・ 生産者所得向上

### ◎ 三方良しプロジェクトが果たす役割

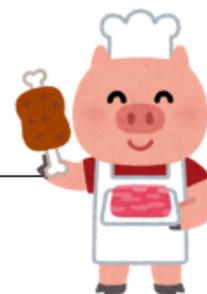
資源循環による持続可能な農業、環境保全に向けた取組を行います。

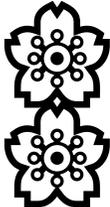
畜産堆肥や飼料作物の活用による耕畜連携を通じて、持続可能な農業・環境保全につなげ地域の魅力を未来につなげます。

### ◎ 三方良し商品概要

三方良しブランド商品は資源循環を通じて選ばれる農畜産物を生産します。

安全・安心・信頼をモットーとします。



 ご清聴ありがとうございました

